

# 学校図書館に おススメする 漫画

学校図書館おススメの漫画についての詳細は一覧をご覧ください。(3頁目)



## リエゾン -こどものこころ診療所-

現代日本の痛みを描く医療漫画の新機軸!

この児童精神科医は、発達障害を凸凹と呼ぶ。

あなたの凸凹にハマる生き方が必ずある。

日本で発達障害と診断されている人はおよそ48万人。

そして、子どもの10人に1人は、何らかの障害を抱えているとされる現代。

人知れず学校や家庭でトラブルを抱え、

孤独や苦痛に耐えながら生きる人たちがいる。

児童精神科医は、そんな親と子に向き合い続ける。

第1巻は「でこぼこ研修医のカルテ」「金の卵」

「学校に行けない子ども」の3編を収録。

児童生徒理解

## しっぽの声

動物の悲鳴に耳を傾けて!!!

繁殖業者、生体展示販売、引き取り屋、殺処分…

ペット流通において、その命はどのように扱われているのか。

誰かと共に生きて、生まれてきただけのペットが

我々の想像を超える状況に置かれていることがある。

声なき声に、力を与えるも殺すも人間。

アニマルシェルターの所長を務める天原士狼と

獣医師の獅子神太一は厳然と立ち向かう――

生命の尊さ





## うちの息子はたぶんゲイ

好きな人と一緒にいたい。  
そんな願いが、息子にも叶えられますように。  
息子二人と普段は三人暮らし。  
単身赴任でなかなか家に帰ってこれない夫も息子たちと仲よし。  
だけど、たまにはぶつかることもある。上の子の浩希はもしかしたら  
ゲイかもしれないけど、夫は身近にそんな存在がいるとはつゆとも思わず、不  
用意な発言をしてしまう。夫は息子たちが大好きで、傷つけるつもりなんて  
まったくないのだけれど…。  
誰もがただ人を大事に想っているだけなのに、ボタンをかけちがってしまう。  
でも私は信じたい。  
大事に想っていればこそ、  
きっといつかはお互いちゃんと向き合えるんじゃないかって。  
お母さんとお父さんと兄と弟、愛情たっぷりの家族の物語です。

児童生徒理解

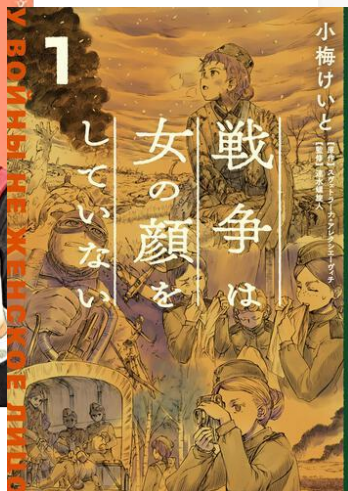
## 児童生徒理解

### みんなが輝くために 舞台は通級指導教室

本書は、ある小学校の通級指導教室を舞台に、学習障害など発達障害のある子どもたちが抱える学校生活や日常生活での困りごと、指導方法などをマンガで分かりやすく紹介しています。  
原作・著者は発達障害教育、特別支援教育に明るい宮城学院女子大学の梅田真理教授。  
実際現場で発達障害の子どもたちと関わってきた経験から、子どもの困り感や保護者の不安、担任教諭の戸惑いなどをリアルに描いています。  
梅田真理教授による解説・Q&Aも収録しています。



## そのほかにも…



紹介した漫画の試し読みは、当館3階  
「学校図書館支援コーナー」で  
できます！

## 学校図書館おススメ漫画一覧

沖縄県立図書館3階「学校図書館支援コーナー」にて  
展示中です。

お気軽に  
お立ち寄りください!



資料名	著者名など	出版社
みんなが輝くために 1~2	梅田 真理 / 原作・著	学びリンク
戦争は女の顔をしていない 1~2	スヴェトラナ・アレクシ エーヴィチ / 原作	KADOKAWA
はたらく細胞BABY 1~3	福田 泰宏 / 漫画	講談社
健康で文化的な最低限度 の生活 1~10	柏木 ハルコ / 著	小学館
しっぽの声 1~7、10~11	夏 緑 / 原作	小学館
うちの息子はたぶんゲイ 1~3	おくら / 著	スクウェア・エニックス
はたらく細胞 1~6	清水 茜 / 著	講談社
リエゾン 1~7	竹村 優作 / 原作	講談社



これからもどんどん紹介します  
ので、お楽しみに~!